



管 卷 き (く だ ま き)

## 2.7 製 織

経糸と緯糸が一定の規則によって交錯しているものを織物と言います。例えば紙や不織布は繊維が縦横斜めに上下と不規則に入り乱れているのを一様の薄さにならし、充填剤や糊で固めたものであり、織物とは呼びません。

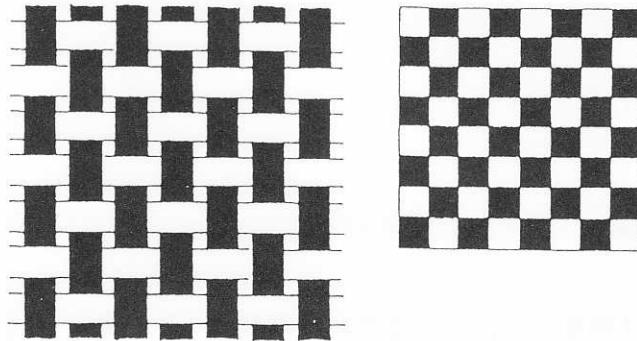
経糸が緯糸の上で交錯することを経糸が浮くといい、その反対を沈むと言います。織物の組織はいろいろありますが、その基礎は平織り、斜紋織り、縞子織りでこれを織物の三原組織と呼んでいます。



製 織

### 2.7.1 平織り

平織りは簡単な組織で経緯それぞれ2本で1組織ができ、いつでも1本ずつ浮沈します。他の組織に比べ交錯する点が多く、平坦で組織がくずれにくいので衣服に最も多く用いられています。本場奄美大島紬は平織りが原則です。



### 2.7.2 斜紋織り

斜紋織りは綾織りともいい、経緯3本以上から作られ、その組織は斜紋線を表します。平織りに比べ柔軟で光沢に富んできますが摩擦に対して弱いという特徴があります。